

2009年度

科目名	環境と社会(総合講座)B				
担当教員	堂丸 隆祥				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	24510
開期	後期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	環境をまもる科学の知恵				
目的と概要	20世紀以後の科学技術の急速な発展により、人類は便利で豊かな生活を手に入れる一方で、資源・エネルギーの大量消費、有害化学物質の環境への大量放出などにより、地域的な公害だけでなく地球規模での環境破壊を引き起こすに至った。この講義では、幾つかの重要な環境問題についてその科学的な因果関係を学ぶことにより、現在および今後の身の回りの環境問題に対して自ら判断する力を養うことを目標とする。				
成績評価法	平常点(40%) + 学期末に行う試験(60%)				
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	講義中に適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	日常、新聞・テレビ等で報道されるサイエンス関連のニュースに関心を持ってほしい。				
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学技術の発展と環境問題(講義の目標および講義概要)</li> <li>2. レイチェル・カーソン「沈黙の春」からの警告</li> <li>3. 食品の安全性—農薬、遺伝子組み換え食品など</li> <li>4. 環境トピックス1—水は「変わり者」</li> <li>5. 環境トピックス2—エアロゾルの役割</li> <li>6. 環境トピックス3—熱とは何だろう</li> <li>7. エネルギー問題1—原子力発電</li> <li>8. エネルギー問題2—新エネルギー</li> <li>9. エネルギー問題3—次世代エネルギー</li> <li>10. エネルギー問題4—バイオ燃料など</li> <li>11. 環境を守る科学の知恵1—リサイクル</li> <li>12. 環境を守る科学の知恵2—省エネルギー</li> <li>13. 環境を守る科学の知恵3—ゼロエミッションに向けて</li> <li>14. 循環型社会の構築</li> <li>15. 講義のまとめ</li> </ol>					